～～申請書の書き方（記入例）～～

◎ペン又はボールペン（黒）で記入してください。
◎訂正する場合は、修正液や砂消ゴムを使用しないで、二重線を引いて訂正してください。

○「**氏名・住所**」は必ず**本人が自署してください。**

「**保証人**」の欄
○**保証人は、保護者（父母又はそれに代わる人。）**を選んでください。
（独立の生計を営み、奨学資金の責めを負うことのできる資力を有する方。ただし、未成年者は除く。）
○**生活保護を受けている方は保証人にはなれません**ので注意してください。
○**保護者（父母又はそれに代わる人。）以外の方を保証人とした場合**は、その方の**「住民票」と「収入を証明する書類」の添付が必要**です。
○必ず保証人になられる方本人が自署してください。

「**家族構成**」の欄
○**本人と生計を一にしている人**全員を記入してください。
○「**父母等の被扶養者**」欄には、父母等の健康保険又は所得税のいずれかの被扶養者になっている方に「○」印をしてください。
○**就学者**は「就学者」欄に記入してください。
＊「就学者」とは、小・中・高校、高専、短大、大学、大学院、特別支援学校、専修学校（高等課程・専門課程）に在学している人です。
＊専修学校の一般課程及び各種学校（予備校等）など上記以外の学校に在学する人は「就学者を除く家族」欄に記入してください。
○「年齢」は申請時現在で記入してください。

「**所得の種類**」は、給与、商業、工業、農業、林業、水産業、その他の区分で、該当するものを記入してください。
ア．「**給与所得**」とは俸給・給料・賃金・役員報酬・年金・恩給・ 賞与・専従者給与並びにこれらの性質を有する所得のことです。
イ．「**その他**」とは自由業、保険外交員、税理士等によって得ている収入、利子・配当・家賃・賃間代・地代・内職収入・生活保護法による扶助費・失業給付金等の収入のことです。

「**収入・売上金額**」の欄
○家計支持者（父母又はそれに代わる人）の令和5年1月～令和5年12月までの年間の収入金額を記入してください。
ア．給与所得者－－－－源泉徴収票の支払金額
イ．給与所得者以外－－「税務署の受付印」のある確定申告書（控）の収入金額等　「税務署の受付印」のない確定申告書の場合は、市区町村発行の所得証明書等も提出してください。
○**同一人で2種類以上の所得があるときは、上下2段に書いてください。**
（例：「給与」と「農業」など。）
ただし、同一の種類とみなされる2つ以上の収入源がある場合は、それぞれについて合算した金額を記入してください。
（例：「給与」と「児童扶養手当」など。）
○令和5年の中途で就職・転職（開業・転業を含む。）した場合や、令和6年1月以降に新たに就職した場合は、申請時現在の月収及び賞与等を参考に、1年間分を推算してください。

「**就学者**」の欄
○小学生以上の就学者を記入してください。
○**高等学校以上の就学者は、「学生証の写し」又は「在学証明書」を添付**してください。（添付がない場合は、「控除額　0円」 となります。）

「**特別控除**」の欄
○「［①～⑥の計］ 世帯合計審査所得金額　⑦」から控除して「認定所得金額」を算出します。
控除を希望する場合は、別紙「在学奨学生・家計急変（緊急）奨学生 奨学資金貸付に必要な書類一覧・チェックポイント」により必要書類を添付してください。

申請書表面

様式第1号の2（第9条関係）　（在学・家計急変）

奨学資金貸付申請書

令和6年4月○日

宮城県教育委員会　殿

高等学校等育英奨学資金の貸付けを受けたいので、高等学校等育英奨学資金貸付条例第5条の規定により、関係書類を添えて申請します。

学校名　宮城県 立 青葉　高等学校（分校・専攻科・専修学校(高等課程)）　全日制（定時制・通信制・(単位制)）　普通 科（学科）　1年 2組　（令和6年4月第1学年入学）

万円未満切捨て

フリガナ	ミヤギ タロウ	住所	（〒980－84××）電話番号（022）211－××××
本人氏名	宮城太郎		仙台市青葉区本町3－8－1　青葉ハイツ101 生年月日　平成 ×× 年 5 月 3 日生
フリガナ	ミヤギ イチロウ	住所	（〒980-84××）電話番号（022）211－××××　職業：会社員
保証人	宮城一郎（続柄：本人の 父 ）		本人に同じ 生年月日 昭和××年 6 月 6 日生　年収（税込み）500万円

給与所得者の場合

	父母等の被扶養者	続柄	氏名	年齢	所得の種類	収入・売上金額（税込み）万円		審査所得金額（税込み）万円
就学者を除く家族		父	宮城一郎	44	給与	503	①	129
		母	宮城花子	42	給与	347	②	15
							③	
							④	
							⑤	
							⑥	
			［①～⑥の計］世帯合計審査所得金額				⑦	144

父母等の健康保険・税法上の扶養親族に該当する場合は○印をしてください。

		続柄	氏名	※設置者	※在学学校	※通学別		控除額 万円
就学者	◎	本人	宮城太郎				⑧	28
	○	妹	宮城育子	国・(公)・私	小・(中)・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学（仙台市立青葉中学校）	(自宅)・自宅外	⑨	16
				国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学（　）	自宅・自宅外	⑩	
				国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学（　）	自宅・自宅外	⑪	

学校名を記入してください。

右下欄「◆就学者の特別控除額（抜粋）」の額が控除されます。

給与所得以外の場合

	父母等の被扶養者	続柄	氏名	年齢	所得の種類	収入・売上金額（税込み）万円		審査所得金額（税込み）万円
就学者を除く家族		父	宮城一郎	44	商業	1284	①	351
		母	宮城花子	42	専従者給与	92	②	0
		母	宮城二郎	43	給与＋児童扶養手当	356		
					農業	250		
			［①～⑥の計］世帯合計審査所得金額				⑦	351

		続柄	氏名	※設置者	※在学学校	※通学別		控除額 万円
就学者	◎	本人	宮城太郎				⑧	28
	○	姉	宮城広子	国・公・(私)	小・中・(高)・高専・専修(高等・専門)・短大・大学（勾当台高校）	(自宅)・自宅外	⑨	41
				国・公・私	小・中・高・高専・専修(高等・専門)・短大・大学（　）	自宅・自宅外	⑩	

特別控除		
ア	母子・父子世帯(子女が18歳未満及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)（一律　49万円）	⑫
イ	障害のある人がいる世帯(公害疾病の認定を受けた障害のある人、常に就床を要する要介護の人等)（1人につき86万円）	⑬
ウ	主たる家計支持者が別居している世帯(別居による、住居・光熱・水道・家具・家事用品の実費)（71万円程度）	⑭
エ	長期に療養を必要とする人のいる世帯(6か月以上療養中の人、療養を必要とする人)	⑮
オ	火災・風水害又は盗難等の被害を受けた世帯(前年から申込時までに被害を受け、今後2年以上の支出増・収入減の年間金額)	⑯

令和５年分　給与所得者の源泉徴収票

支払を受ける者 住所又は居所	仙台市青葉区本町3－8－1 青葉ハイツ101
氏名	（フリガナ）ミヤギ イチロウ　宮城 一郎

種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除額の合計額
給与	5,036,567円	3,824,104円	1,448,963円

（摘要）（控除対象配偶者氏名）（扶養親族名）　タロウ　イクコ

給与収入の場合の審査所得の計算式

収入金額			所得金額
	～	329	0
330	～	400	収入金額(万円)－((収入金額×0．2)＋263万円)
401	～	878	収入金額(万円)－((収入金額×0．3)＋223万円)
879	～		収入金額(万円)－486万円

令和５年分の所得税の確定申告書Ｂ

6 年 3 月 X 日

住所	〒980－○×△□　仙台市青葉区本町３－８－１　青葉ハイツ１０１
平成 年1月1日の住所	同上
フリガナ	ミヤギ イチロウ
氏名	宮城 一郎
性別	男
職業	家具販売
屋号・雅号	宮城家具店
世帯主の氏名	宮城一郎
世帯主との続柄	本人
生年月日	3 XX XX 06 06

第一表

収入金額等		
事業 営業等	ア	12846236
農業	イ	
不動産	ウ	
利子	エ	
配当	オ	
給与	カ	
雑 公的年金等	キ	
その他	ク	
総合譲渡 短期	ケ	
長期	コ	
一時	サ	

所得金額		
事業 営業等	①	3514371
農業	②	
不動産	③	

万円未満切捨て

第二表

○　事業専従者に関する事項

氏名	生年月日	続柄	従事月数・程度・仕事の内容	専従者給与（控除）額
宮城 花子	昭 XX．8．1	妻	家具販売 毎日8時間程度従事	923,228円

申請書裏面

する意欲	将来は，建築関係の職に就きたいと考えています。

※ 学習に対する意欲は、申請者本人自筆になります。

本人が未成年者の場合には、親権者又は未成年後見人が下欄に自署すること。

※ 申請者が未成年者の場合は記入が必要となります。

親権者等			
氏名	宮城　一郎	本人との続柄	本人の（ 父 ）
住所	（〒 980－84××）仙台市青葉区本町３－８－１　青葉ハイツ１０１		

◆就学者の特別控除額（抜粋）
公立高校（自宅通学：28万円　自宅外通学：47万円）　小学生：8万円
私立高校（自宅通学：41万円　自宅外通学：60万円）　中学生：16万円
国公立大学（自宅通学：59万円　自宅外通学：102万円）
私立大学（自宅通学：101万円　自宅外通学：144万円）　※高専、専修学校は記載省略